

稲垣議員の議会報告 (3.12) に対する市の見解

内容	市の考え方
<p>野洲駅南口の整備構想を、見直す必要があります。総合病院の機能は必ずしも駅前に必要なものではありません。仮に駅前に立地場所を設定した場合、にぎわいを永久に放棄することになります</p>	<p>今日までの市議会、専門家、市民、企業等の議論により病院を含んだ南口周辺整備構想により合意形成を経た駅前整備方針となっている。</p> <p>平成 24 年 4 月から建築の専門家、国、県、JR 西日本、JA おうみ富士、自治連合会等の参加により南口整備構想の検討を行い、平成 25 年度、市民参加ワークショップを開催し議論の積み重ねにより「心と体の健康」と「にぎわい」を達成することとしている。構想では、そのための機能として、市民広場、病院、交流施設、図書館分室、商業サービスをゾーニングとともに設定している。</p> <p>これは、その都度、都市基盤整備特別委員会で説明し承諾を得て今日まで進めている。</p>
<p>平成 27 年度末見込みにおいて、約 450 億円の膨大な借金を抱え、返済の目途は立っていません。</p>	<p>起債計画により、返済期間も含め適正に運用している。</p> <p>平成 27 年度末の一般会計市債残高は約 283 億円。その他、土地取得特別会計約 15 億 7 千万円と下水道事業や水道事業といった普通会計による債務 142 億円。市全体の市債残高は約 440 億円</p>

稲垣議員の議会報告 (3.12) に対する市の見解

内容	市の考え方
<p>今後、5年における財政見通し（歳入と歳出の差引）によると、平成28年度は、8億5千万円の赤字、平成29年度は4億4千万円の赤字、平成30年度は3億3千万円の赤字、平成31年度は2億3千万円の赤字、平成32年度は4億3千万円の赤字となっています。これらを考慮すると、これまで通りの財政運営を続けることは困難な状況です。</p>	<p>中期財政見通しの数値を示して、「これまで通りの財政運営を続けることは困難な状況」と決め付けることは間違いである。</p> <p>中期財政見通しは、予算編成における事業の選択や事業経費の精査においてどの程度歳出の削減等が必要かを示す、いわゆる成り行き推計で、県、大津市、草津市、守山市、近江八幡市、湖南市等、何れの中期財政見通しも、この段階では、皆「マイナス収支」である。実際の決算は中期財政見通しに反し全て黒字決算となっている。</p>
<p>新・野洲市立病院整備を理由に、現・民間野洲病院が解散した場合</p> <p>①野洲市の当該病院への貸付金(残高4億5千万円)が返済されない</p> <p>②当該病院の銀行等からの借金(残高4億円)の連帯保証人を市が引き受けていることから、請求を受ける</p> <p>③現・民間野洲病院を、取り壊して、更地にする際の費用を、実質的に、野洲市が負担する</p>	<p>①市(町)が貸し付けた9億円は、市立病院開設予定年度(平成32年度)末で、残債は約5,092万円である。</p> <p>②銀行等から貸し付けを受け、市が損失補償している18億円は、H31年度に返済を終える。</p> <p>③現病院を取り壊して、更地にする費用は、特定医療法人社団御上会の負担。</p>
<p>10億円超の巨額の偶発的債務を、野洲市は有しています。新・野洲市立病院整備に関し、これらの説明が、市民や議会に、十分になされていないことを危惧しています。</p>	<p>野洲病院の債務状況は新病院検討の当初(平成23年度)から市議会に報告している。</p> <p>新病院開設が遅れるほどこの債務に対する市の支援が長引くことになる。</p>

稲垣議員の議会報告 (3.12) に対する市の見解

内容	市の考え方
市民の声（医師のご提案について）	「本人確認予定」
この収支計画は、仮説を重ねたものであり…	<u>「仮説を重ねたもの」という表現は不適切。先に作成した基本計画に基づき、精度の高い根拠のあるデータに基づき試算したもの。</u>
公立病院を整備するにも関わらず、民間病院である、現・民間野洲病院の最高収益単年度の収支を反映させたり…	<u>立地特性や規模（病床数、診療科目等）が同等の病院のデータを根拠としたもので、このデータを使用することは学識有識者が評価した上で認めている。</u>
ベッド利用率を異例の90%と想定（公立病院の平均は70%）したためです。	<u>計画数値は、現野洲病院の全レセプトデータを基に、患者数を推計し根拠を持って算出したもの。</u>
（昨年議会で公表された）その内容は、市財政から毎年平均3億円の支出を要するにもかかわらず、事業損益が、開院20年目の累積損失は、約42億円の赤字と想定され、事業計画が不成立とするものでした。	<u>この数値は、計画検討途中段階の作業過程の数値であり、事業適否を判断する根拠ではない。</u>
市長は、その冷静な職員の進言には、耳を傾けず、試算公表後、直ぐに異動となった。	<p><u>去る3月4日(金)の稲垣議員の一般質問に対して、市長から「職員からの進言はなかった」と断言されたにもかかわらず、稲垣議員の議会報告では「職員の進言には、耳を傾けず」と断定的に記載されている。このことは、正確に議会の報告をされているとは考えられない。</u></p> <p>内部調査においても「職員の進言に耳を傾けなかった」、「試算公表後、直ぐに異動となった」というような事実は確認していない。また、人事異動については毎年方針を示し、本人の希望や適性なども考慮しながら適正に行っている。</p>

稲垣議員の議会報告 (3.12) に対する市の見解

内容	市の考え方
<p>本整備計画を実行するのであれば、市民も相当の覚悟が必要です。経営が頓挫した場合、本市の財政負担が急速に増加し、行政サービスの低下に、繋がります。北海道夕張市のような可能性も、決して誇張ではありません。</p>	<p><u>病院事業により市が破綻することは無く、あり得ないことで市民に不安を煽っている。</u></p> <p>夕張市の破綻は、病院事業により破綻した訳でなく、炭鉱閉山の跡処理負担や観光・リゾート開発とその関連の財政負担が主な原因。</p>
<p>(住民投票の)度重なる当職の提案に対し、市長は「住民投票は必要ない。市民は日常レベルで、そこまで突っ込んだ議論はできない」と、拒否しました。</p>	<p><u>住民投票の実施については、拒否はしていない。</u></p> <p><u>市長という立場で議会への提案権もあるのに、あえて住民投票に付す必要はないと考えており、議会で責任を持って判断していただきたい。</u></p> <p>議員を含め、市民は誰でも住民投票を提案できる制度になっているから、なぜ自分が使わないで、市長に住民投票に付せと言うのかからない。</p>
<p>③物事を決めていくにあたり、冷静で客観的な意見を封じ込め、責任のあり方を極めて、曖昧にしています</p>	<p><u>根拠の無い悪い条件を勝手に想定し、それに基づく提案に対しても責任を持って議論している。</u></p>
<p>建設費用が高騰する中、本整備計画も、総事業費の上昇や、開院後の減価償却費負担で、病院継続が困難になる可能性が高いと、判断しています。</p>	<p><u>根拠の無い悪い条件を勝手に想定している。</u></p>

稲垣議員の議会報告 (3.12) に対する市の見解

内容	市の考え方
<p>本市の財政は、総事業費の上昇や、収支計画の下方修正に対し、いくらまで耐えるのか、検証する必要があると思ひ、当職が提案したところ、市長は「赤字は想定していないので、下方修正の検証はする必要がない」「赤字の拡大時の対応策は、健全経営すること。一生懸命やって赤字になるなら、医療制度が悪い」と述べ、予定通りいかなかった場合の、対応策がないことがわかりました。</p>	<p><u>根拠の無い悪い条件を勝手に想定している。</u></p>
<p>野洲市による金融支援や債権放棄を含む、全面的な支援のもと、支援医療法人の参加の可能性も加え、耐震性に問題のある「東館」の建替工事、又は耐震補強工事を行い、(中略) 新・野洲市立病院整備と比較し、費用を格段に抑えることが可能です。</p>	<p><u>2010以降の検討結果と3.14野洲病院支援継続可能性評価委員会の提言で明らかになっている。</u></p>
<p>建替えは、多く見積もっても、「東館」の解体費用も含めて、15億円で収まり…</p>	<p><u>建替えが解体も含めて15億円で可能とする根拠が不明。工事による医業収益の減収があるはず。</u></p> <p>2010以降の検討結果と3.14野洲病院支援継続可能性評価委員会の提言で明らかになっている。</p>
<p>耐震補強は8億円で可能です。</p>	<p><u>耐震補強工事が8億円で可能という根拠が不明。工事による医業収益の減収があるはず。</u></p> <p>2010以降の検討結果と3.14野洲病院支援継続可能性評価委員会の提言で明らかになっている。</p>